

記者発表資料
平成23年5月20日
宮城県環境生活部原子力安全対策室
担当：榎野、伊藤（内線2607）
宮城県土木部港湾課
担当：福田、川越（内線3212）

仙台塩釜港における大気・海水の放射能等測定結果について

東京電力福島第一原子力発電所からの放射性物質流出を受け、外国から仙台塩釜港への船舶の寄港についての懸念が寄せられていることから、下記のとおり、東北大学の協力を得て、仙台塩釜港（仙台港区）における空間放射線線量率及び海水中の放射能を測定しました。

その結果、仙台塩釜港の海水中の放射性物質は不検出であり、安全であることが確認されました。

記

1 採取年月日

平成23年5月18日

2 測定年月日

平成23年5月18～19日

3 測定分析機関

(1) 空間放射線線量率測定
宮城県土木部港湾課

(2) 海水中の放射能測定
東北大学（東北大学への協力依頼）

4 測定結果

(1) 空間放射線線量率（仙台塩釜港（仙台港区）高砂コンテナターミナル内）
測定結果： 0.065 μ Sv（マイクロヘルム）/h

※ この値の放射線を1年間継続して受けても、その被ばくの程度は、胃のエックス線集団検診の1回分と同程度です。（0.065 \times 24 \times 365 \approx 570 μ Sv 胃のエックス線集団検診1回600 μ Sv 2000年版国連 科学委員会報告より）

(2) 海水（仙台塩釜港（仙台港区）高砂1号ふ頭前）
放射性ヨウ素：不検出
放射性セシウム：不検出